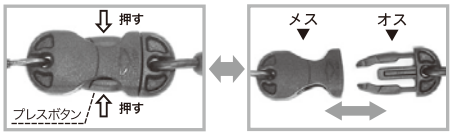
5 使用方法

5-1 ワンタッチリリースについて

○ ヒットエアーには、乗馬、下馬時に簡単に取付け、取外しできるワンタッチリリースが必要となります。ワンタッチリリースとは、鞍の所定の位置に取付けた伸縮ワイヤーとヒットエアー付ジャケットのキーボックスから出ているキーボールとをつなぐパーツです。

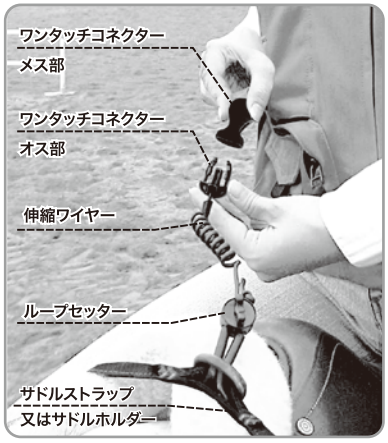
○ 乗馬の際に鞍に取付けた伸縮ワイヤーのオス部とウェア側のキーボックスのメス部を接合します。



注意 ⚠ 1. 接合音「かちっ!」 **接合する際は、メス部を持ちながらオス部を挿入して下さい。その際に「カチッ」と 挿入音が出るのを確認して下さい。挿入音もなく不完全に挿入している場合は、外れる事があります。**

注意 ⚠ **2. ワンタッチリリース(コネクター)の内側に、砂やゴミ等が入り込み、挿入時に違和感がある時は、オス部とメス部のゴミ等をよく取除いて下さい。**

注意 ⚠ **3. オス部とメス部の挿入がうまく出来ない場合は、新しいものとお取り替え下さい。無理に行うと、外せなくなる事や、自然に外れる恐れがあります。**



伸縮ワイヤー

伸縮ワイヤー2

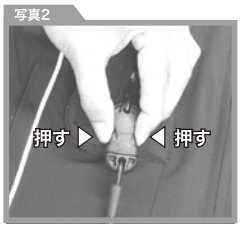
ベルトタイプの伸縮ワイヤー、長さ調節はベルトで簡単調節、取付けも簡単!

複数の鞍をお持ちの方は追加用伸縮ワイヤー(別売)をご利用ください。

5-2 ヒットエアーと伸縮ワイヤーの接続

○馬に股がってから、ワンタッチリリース(コネクター)のメス部の両端を持ちながらオス部を挿入させて下さい。(写真1)

○馬から降りる際には、ワンタッチリリース(コネクター)のプレスボタン(両側)を押して、外してから馬をお降り下さい。(写真2)



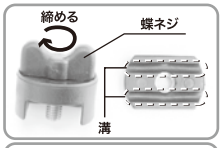
○伸縮ワイヤー

伸縮ワイヤーのワイヤー部には、強度に優れたケブラー糸を使用し、ウレタン樹脂で表面をコーティングしています。

注意 ⚠ 外装にこすれ傷、めくれ、ヒビ等の異常を確認した場合は新しいものにお取り替え下さい。そのまま使用すると、伸縮ワイヤーの切断やループセッターから抜け外れの原因となります。伸縮ワイヤーのお取り替えは、各自の責任において適切に行って下さい。また、事故の原因となりますので当社指定の伸縮ワイヤーを必ずご使用ください。

○ループセッター

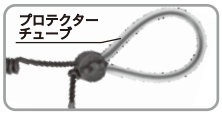
ループセッターは、伸縮ワイヤーの長さを調節し固定するパーツです。
乗馬の際に、蝶ネジが強く締まっている事を確認して下さい。長さ調節する場合は、ワイヤーをループセッターの溝に挟み込み、蝶ネジを強く締めて下さい。ループセッターより出たワイヤーは根元に結び目を作り(硬く結ぶ)、先端部を2cm以上残して、余った部分を切り、キャップをはめて下さい。
※結び目が無いとワイヤーが抜けてエアバッグは膨らみません。



注意

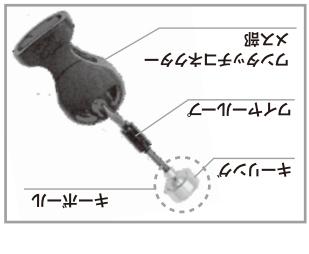
○プロテクターチューブ

鞍へ取付けた際、滑りにくいラバー(又はシリコン)素材を使用しています。
伸縮ワイヤーの巻き付け箇所の保護(摩耗、傷)を目的としています。



4-4 キーボール《V型》

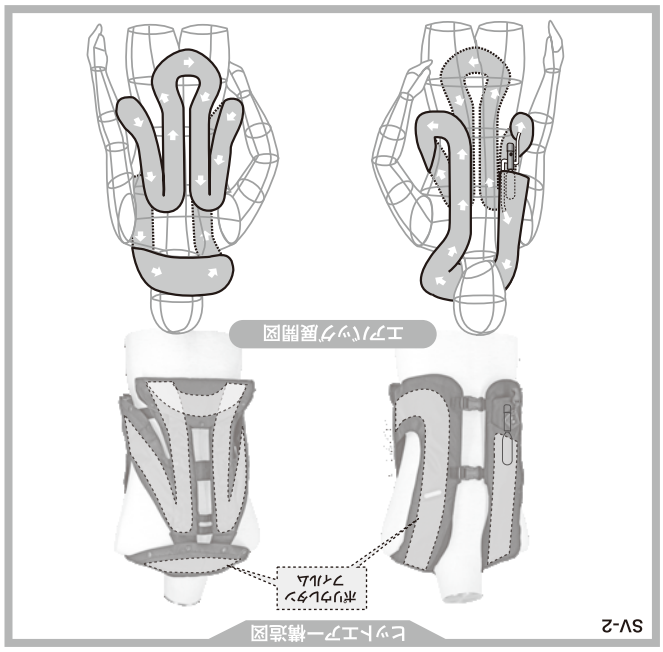
キーボールは、キーボックス内の圧縮バネと針を固定する役割をし、キーボールが抜ける圧縮バネとおけが連動してカートリッジボンベの封板に穴をあけ、エアバッグ(気室)が膨らみます。
キーボールとキーリングは、本型のバーツです。



キーボールセット V型

4-5 ヒットエアー構造

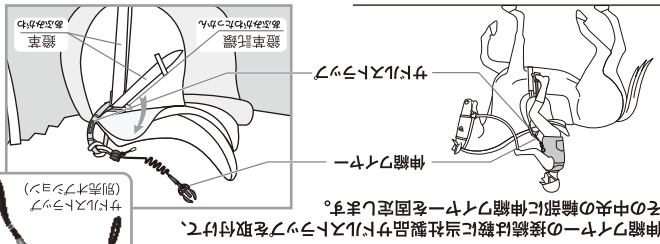
ヒットエアー・一体型は、表面の生地(カバー)の中に直接エアバッグのボリウムシートとカが内蔵されています。内蔵されたボリウムシートとカが衝撃を緩和します。



※モデルによって気室の形状等が異なる場合があります

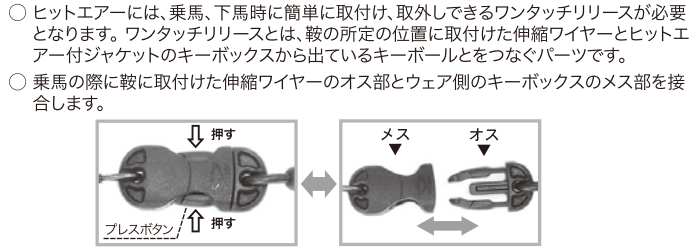
2. サドルストラップへの取り付け

伸縮ワイヤーの接続は鞍に当社製品サドルストラップを取付けて、その中央の輪部に伸縮ワイヤーを固定します。



サドルストラップへの伸縮ワイヤー装着方法(注意3参照)

サドルストラップ取付け方法



鞍革託鞴(あぶみかたっかん)にサドルストラップのワッペン面を上し、両端のU字部分をしっかり奥まで差し込みます

鞍革を取付け、鞍革託鞴の開閉レバーを閉じて下さい。(開閉レバーをワッペンなどが当たる場合もあります)

注意 1. 伸縮ワイヤーの接続が不完全の場合、伸縮ワイヤーが伸びきった状態で、その接続が外れてしまい作動しない恐れがあります。

注意 2. 伸縮ワイヤーに異常(傷、ひび割れ等)が発見された場合は必ず新しいものに取り替えて下さい。(※当社指定以外の伸縮ワイヤーは使用しないで下さい)

注意 3. サドルストラップが劣化して縫い糸がほつれたり切れたりしたものは使用しないで下さい。その場合すぐに新しいものに取り替えて下さい。劣化したサドルストラップを使用すると切れてエアバッグが作動しない恐れがあります。

注意 4. 鞍革託鞴(あぶみかたっかん)に装着したサドルストラップは、状況によって、作動の際に抜けてしまいエアバッグが膨らまない場合があります。